

2022年度(令和4年度)学校評価自己評価表

新市中央中学校区	校番 66	福山市立常金丸小学校
最終更新日	2022年(令和4年)4月14日	

I 福山市

ミッション	福山に愛着と誇りを持ち、変化の激しい社会をたくましく生きる子どもを育てる。
ビジョン	「福山100NEN教育」の基本理念のもと、各中学校区・学校が「21世紀型“スキル&倫理観”」の育成に向けた特色ある教育課程を編成し、日々の授業を中心として評価・改善を進めながら、子どもたちの確かな学びを実現している。

II 中学校区

前年度学校関係者評価の主な内容	児童生徒の現状	育成する力 (21世紀型“スキル&倫理観”)	課題解決力、チャレンジ&チェンジする力、つながる力、自己表現力
<ul style="list-style-type: none"> 書く力と端末との折り合いを、是非、つけて欲しい。 学力、人間性、体力、友達など、最終的にはバランスが大切である。 地域の力を借りながら、子どもたちに「あんな元気のよい大人になりたい」を思うような活動を行って欲しい。 コロナ禍の中、意図的に楽しく体を動かすことをさせる必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 小中学校とも落ち着いた温かい雰囲気の中で、学び合ったり、教え合ったりする姿が多く見られている。 新市スタンダードの生活4項目は全体的に良好で概ね90%を維持している。 体育の授業の中での制限や、体育行事・部活動が中止となる中、体力の維持・向上を図ることが不十分である。 	<ul style="list-style-type: none"> めざす子ども像(義務教育修了時の姿) 中学校区として統一した取組等 	<ul style="list-style-type: none"> 課題を設定し、情報を比較・分類・関連付けながら解決する児童生徒。 自分の目標達成に向けた計画を立て、取り組む児童生徒。そして、その取組を定期的に振り返り、改善策を考える児童生徒。 互いの良さや違いを認め合い、協働して課題の解決策を導き出す児童生徒。 自分の思いや考えを相手に分かりやすく説明する児童生徒。 地元事業者や地域の方と育成したい資質・能力を共有しながら、自分の思いや考えを、相手や場に応じて、分かりやすく説明することができる自己表現力を育てていく。 新市スタンダード学習5項目(準備、チャイム、話を聞く、姿勢、家庭学習)、生活4項目(挨拶、言葉づかい、身だしなみ、掃除)の徹底を進める。

III 自校

ミッション	自分の夢の実現に向けてたくましく生きていく生徒、次代の新市や日本、世界を担う生徒を育成して、新市町の皆さんから応援される学校づくりを推し進める。					
学校教育目標	立志・貢献・郷土愛					
現状	育成する力 (21世紀型“スキル&倫理観”)	課題解決力	チャレンジ&チェンジする力	つながる力	自己表現力	
<ul style="list-style-type: none"> ○ 学力については、ここ数年の目標指数を単元末テストにおいて80%超を設定してほぼ達成できている。しかし、全国学力テストにおいては平均を大きく下回る年がある。学年ごとにはばらつきがあり、学力の定着に至っていない学年もある。 ○ 体力テスト2019年の結果で国県の平均を超えている種目の割合が41.7%であったことから外遊び等の取組を進め2021年春には57.4%となった。さらに2021年には秋までに弱い種目に焦点を当てた「体育道場」等の取組を進め66.7%まで伸びた。 ○ 児童の自己肯定感が低い状況(68.1%)であったことから教員で「ほめる」ことの推奨や児童会の「あいさつ名人」の取組を通して少しずつ「認められている」というアンケート結果に表れてきている。(83.0%) ○ 地域の方々が組織的に学校に関わってくださり「総合」4年生福祉学習には「福祉を高める会」「公民館」「交流館」から、5年生環境学習には「チーム青木」から、6年生地域伝統を学ぶには「菊づくり名人」「金名の郷頭・権現古墳群を守る会」からの講師による学習ができています。 ○ 常金中学校の閉校、新新市中央中学校への再編に伴い1小1中校区から、4小1中の中学校校区となった。 	めざす子ども像	高学年	解決すべき課題を設定し、情報を比較、分類、関連付けて考え、互いの考えを検討し合い、課題を解決しようとしている。	活動をふり振り返り、改善策を考えることができる。	互いのよさや違いを認め合い、協働して課題解決をしようとしている。	自分の思いや考えを多様な表現方法を用いて説明することができる。
	めざす授業の姿	中学年	課題を見つけ、自分の考えと友達の考えを比べながら、課題を解決しようとしている。	困難なことにも挑戦し、最後までやりきることができる。	友達のよさを見つけ、共に行動しようとしている。	自分の思いや考えをまとめて表現することができる。
	低学年	問題を理解し、自分で考えて解決しようとしている。	自分のやりたいことに挑戦している。	友達のよいところをみつけようとしている。	自分の思いを相手に伝えることができる。	
研究	テーマ	「新しい学校で自分を表現できる子どもを育てる」 ～自分の言葉で思いや考えを表現する活動を通して～				
	内容等	根拠をもって伝える力を育てる授業づくり ・系統立てたカリキュラムの作成 ・児童による学習課題の設定や学習方法の選択を取り入れた単元づくり ・伝え合う場の工夫				
めざす授業の姿	自ら課題を見つけ思いや考えを伝え合い、友だちと協働して学ぶことがおもしろいと感じる授業 「やってみよう」「なぜだろう」「わかった」「できた」「もっとやってみよう」					

IV 目標・取組及び評価指標等の設定と評価

福山市立常金丸小学校

年 目	中期経営目標	重 点	分 類	短期経営目標	目標達成に 向けた取組	評価指標	中間評価(10月1日)				最終評価(2月末)				
							□指標に係る 取組状況	□ 評価	□ 達成 評価	改善方策	□指標に係る 取組状況 ◎短期(中期)経営 目標の達成状況	□ 評価	□ 達成 評価	□ 総合 評価	改善方策
2	子どもが学ぶに 向かう力、学び 続ける力を育成 する。	★	継続	課題解決力 を育成する。	・課題を見つけ、自 らの目標を決め、 様々な方法で学び を深める授業づく りを行う。	・学ぶことが面白いと感じる児童 を80%以上にする。 ・単元末テスト(国語、算数)「思 考力・判断力・表現力」の80%以 上にする。 ・体力テスト県平均以上の項目を 70%以上にする。									
			★	継続	チャレンジ & チェンジ する力を育 成する。	・学校行事や挑戦大 賞など課題意識を もって積極的に挑 戦させ、ふり返りを行 う。	・自分で選んで挑戦する児童を 80%以上にする。 ・「できないことが前よりできるよ うになった」と感じる児童を80% 以上にする。								
			継続	つながる力 を育成する。	・児童の言葉や気付 きでつなく授業や 縦わり班での異学 年交流を意識した 活動を仕組む。	・友だちや異学年でかかわって 学習や活動を行い、自分のよさ が認められていると感じる児 童を80%以上にする。									
			継続	教職員のや りがい・充実 感を高める。	・教職員の日々の業 務での気付きやア イデアを取り入れ、 全員が業務改善・授 業改善の取組に参 加する。	・仕事にやりがい・充実感がある 教職員を80%以上にする。									
2	地域や地元企業 と連携したキャ リア教育を推進 する。	★	新規	自己表現力 を育成する。	・地域、企業と連携 した授業を仕組み、 様々な形で学んだ ことを発信する。	・自分の学びをふり返り、自分の 考えや思いを表現できる児童を 80%以上にする。									

[プロセス評価の評価基準]

[達成評価の評価基準]

[総合評価の評価基準]

評点	評価基準
5	取組の目的に対する共通理解が顕著に認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決が十分に図られた。
4	取組の目的に対する共通理解が認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決が概ね図られた。
3	取組の目的に対する共通理解が一定程度認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決がある程度図られた。
2	取組の目的に対する共通理解が認められ難く、状況の変化、問題が生じた際の協同的な課題解決があまり図られなかった。
1	取組の目的に対する共通理解が認められず、状況の変化、問題が生じた際の協同的な課題解決が図られなかった。

評点	評価基準
5	目標を大幅に達成し、十分な成果をあげた。
4	目標を概ね達成し、望ましい成果をあげた。
3	目標をある程度達成し、一定の成果をあげた。
2	目標を下回り、成果よりも課題が多かった。
1	目標を大きく下回り、成果が認められなかった。

評点	評価基準	
5	100%以上の達成度	十分に目標を達成できた。
4	80%以上100%未満の達成度	概ね目標を達成できた。
3	60%以上80%未満の達成度	ある程度目標を達成できた。
2	40%以上60%未満の達成度	あまり目標を達成できなかった。
1	40%未満の達成度	目標を達成できなかった。